

新興企業向け新市場について

2008年1月

株式会社 東京証券取引所グループ

I . 新市場創設の目的

既存の市場に取り込めなかった
日本とアジアの企業と投資家に
新たな「リスクキャピタルマーケット」を提供する

Ⅱ.新市場のコンセプト(1)

ターゲットとする企業

アジア企業

英文開示、国際会計基準を許容することにより、これまで、日本語開示、J-GAAPを要求されてきたために日本の市場にアクセスできなかったアジア企業を取り込む

東京がアジアのリスク・キャピタルのハブに

Ⅱ.新市場のコンセプト(2)

ターゲットとする企業

日本の成長企業

- ・ J-SOX、四半期開示を求めないことによる負担軽減
- ・ アーリーステージでの上場を可能にし、ベンチャーキャピタル等の投資回収の早期化を実現。

企業の成長の加速化に貢献

Ⅱ. 新市場のコンセプト(3)

ターゲットとする投資家

機関投資家、富裕な個人投資家、海外投資家

- ・参加可能な投資家は、制度上「特定投資家」まで(「プロ向け市場」)
- ・海外投資家を積極的に取り込む

→ 投資家を限定することで、英文開示、国際会計基準の許容など柔軟な制度導入が可能に

Ⅱ. 新市場のコンセプト(4)

NOMADシステム

ロンドン証取AIMのNOMAD制度を参考にした仕組み

NOMADが受託する業務

- ✓ 候補企業の上場準備
- ✓ 上場後の開示サポート
- ✓ 流動性の付与
- ✓ 上場銘柄に対するアナリストレポートの作成 等

これらの業務に対するFee収入による新たなビジネス

投資家の開拓、上場企業の継続的な資金調達サポートによる更なるビジネスの展開

弁護士、会計士、アナリストなど、周辺ビジネスにも新たな展開の可能性

Ⅱ. 新市場のコンセプト(5)

運営主体

東証とロンドン証券取引所の合併新会社が運営

- ✓ 2008年中の会社立ち上げ
- ✓ 東証とLSEの出資比率は50:50
- ✓ 日本法人として東京に設立

LSEのAIMでの経験・知見・資源
東証の日本・アジアでの経験・知見・資源 } を導入

Ⅲ. 金融庁「金融・資本市場競争力強化プラン」

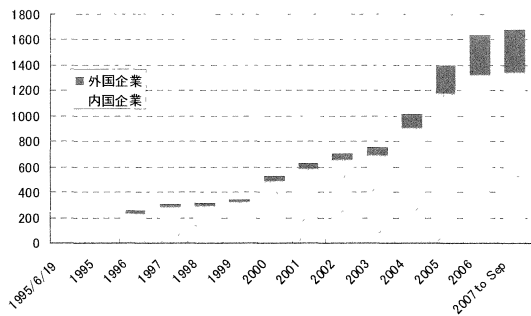
- 昨年12月、金融庁が、金融審議会の報告書に沿って「金融・資本市場競争力強化プラン」を公表
- 「プロ向け市場」については、関連法案を早急に国会に提出

参考

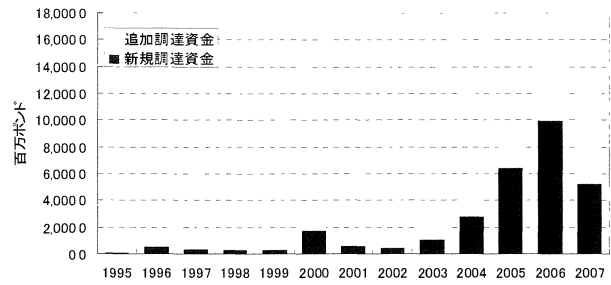
AIM市場

AIM市場 (Alternative Investment Market: 代替投資市場) は1995年にLSEにより創設された世界最大の新興企業向け市場。柔軟な規制体系と世界の投資家のニーズを満たす高い情報開示レベルを両立させている。

■ 上場会社数推移 (2007年9月末現在で1,682社 (うち外国企業329社))



■ 資金調達額



- 創設以来12年間にAIM上場会社が調達した527億ポンド (12.3兆円)のうち、229億ポンド (5.3兆円)がAIM上場後の追加的な資金調達となっている。